

## 6月30日 黒鳥4番組集落営農検討会を開きました。

◎黒鳥4番の農業者15名とJA 越後中央 山賀課長、普及センター渡辺、工藤が参加し、集落営農について検討会を行いました。

### 【品目横断的経営安定対策の概要】

品目横断的経営安定対策への加入に向けて、加入条件を確認しました。個人での加入は4haの面積要件があるため、平均経営面積が約2haの黒鳥4番では有志による法人か集落営農による加入が望まれます。

### 【6月19日集落営農検討会役員会】

設立準備委員の7名が参加して、関係機関と意見交換をしました。そこで、「まずは所有機械の状況調査が必要だ」ということで、集落の農業者全員にアンケート調査を実施しました。

### 【アンケートの結果】

○集落営農への参加意向：20人中18人

○農業機械の所有状況

トラクター、田植機、コンバイン、乾燥機について回答してもらいました。

今現在はほとんどが自己所有ですが、壊れたときは組織（自己参加含む）に委託する、が一番多い回答でした。

○農業機械のコスト

田植機とコンバインについて、現状の所有状況ともし集落全体を組織とした時の差について試算しました。



### 【集落営農について】

○経営安定対策の対象となる集落営農とは…というところから、いろいろな質問が出ました。

**質問1** 機械の買い換えの補助事業があるのでは？

**回答1** 国補であるようだ

**質問2** ライスセンターを作るときの補助は？

**回答2** 法人5割、集落営農4割

**質問3** 集落営農計画が達成できなかった時返済する必要があるのか？

**回答3** すぐに返せとは言われなさそうだが、改善計画は出させられるかも。

**質問4** 転作の配分は？

**回答4** 集落に配分されるので、集落内で再配分などの方法が考えられます。

**質問5** 集落営農になったときの他集落からの受けている分の転作はどうする？

**回答5** 個人間のやりとりで、集落（他集落も含め）達成できていればいいのでは。

### 【これからどうする？】

「機械については壊れたときに買わずにいて、個人で融通しあう。それを集落が取り持つ。と考えていた。」という意見もあり、どこから共同化していくか（できるか）を考える必要があります。アンケートを基に機械の導入計画を作成し、役員を中心に検討を行います。

